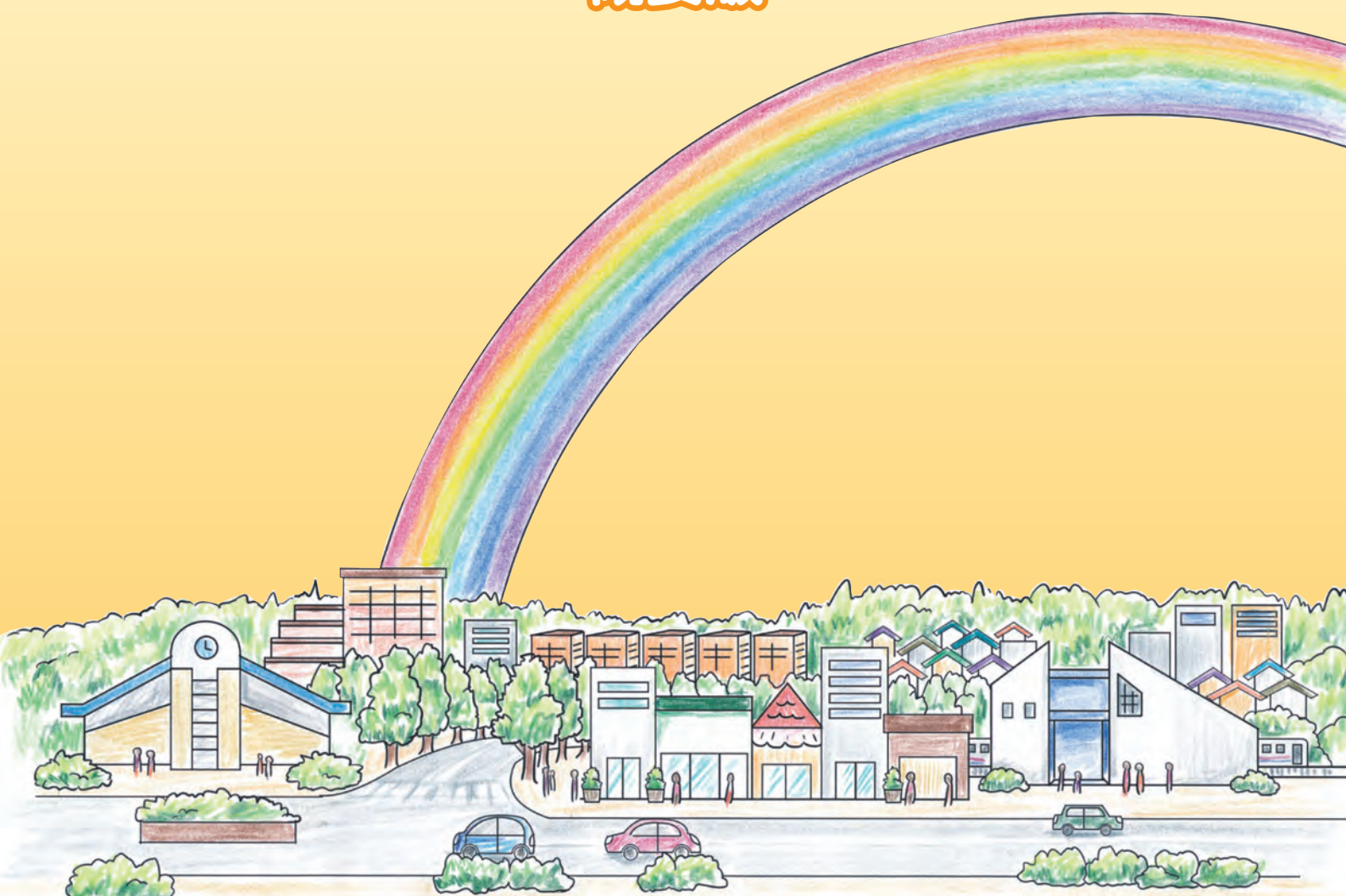


第2期

酒々井町 まち・ひと・しごと 創生総合戦略

人口ビジョン (2022年改訂版)
概要版



令和4年3月
酒々井町

人 口 ビ ジ ョ ン

1. 人口の現状分析

- 酒々井町の人口は、成田国際空港の開港（1978 年）や町内の住宅団地の整備（1970～1980 年代）により、昭和 40～50 年代に増加を続けてきました。
- 平成 17 年（2005 年）の 21,385 人をピークに減少傾向に転じています。
- 2019 年の合計特殊出生率は 1.10 と国（1.36）、県（1.28）より低くなっています。
- 高齢化が急激に進んでおり、2020 年の高齢化率は 33.5%となっています。

2. 人口の将来推計と展望

- 令和 2 年の国勢調査をベースとした町の人口推計では、現状のまま人口動態が推移すると仮定した場合の 2060 年の本町の人口は 13,448 人（2020 年比：▲7,297 人）です。高齢化率は、2060 年には 45.2%まで上昇します。

3. 目標人口達成に向けたロードマップ

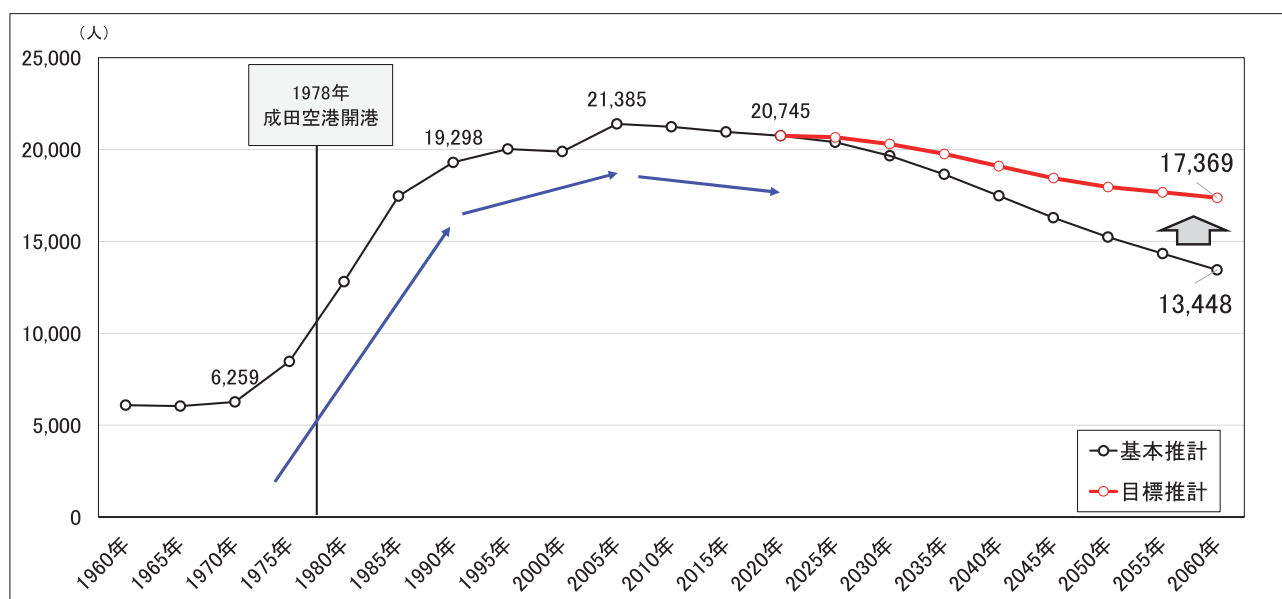
- 各種施策を講じることによって目指すべき 2060 年の本町の目標人口を 17,500 人とします。
- 子育て世代を中心とした転入増加（毎年 40 人）、本町の希望出生率を 1.60 まで上昇させることで、中長期的な人口減少の抑制、高齢化の抑制を進めます。
- たとえ人口が減少したとしても、町民が生活にゆとりを持ち、老後まで幸せに安心して暮らせるまちづくりを推進します。

2060 年の目標とする将来人口⇒17,500 人

【主な施策の方向性】

- 潤う地域をつくるとともに、安心して働ける酒々井づくり
- 地域がつながりを築き、郷土への新しいひとの流れをつくる酒々井づくり
- 結婚・出産・子育ての希望をかなえる酒々井づくり
- 人が集う安心して暮らすことができる、魅力的な地域をつくる酒々井づくり

【酒々井町の将来人口推計結果】



出所：2020 年までの総人口は国勢調査の結果、2025 年以降は町推計値

第 2 期 総 合 戦 略

1. 策定の目的

総合戦略策定の目的は、「人口ビジョン」で掲示した人口の将来展望を前提として、「人口減少克服」と「地方創生」という視点から、本町が目指すべき基本目標や取り組むべき施策などを掲げることです。地域課題の解決と町のさらなる発展のため、国や県の総合戦略を踏まえて、「次世代に誇れるまちづくり」に向けた指標として、今回新たな総合戦略を策定します。

2. 施策体系（4つの基本目標と施策群）

基本目標		施策
1	潤う地域をつくとともに、安心して働ける酒々井づくり	①魅力ある雇用の場づくりの推進 ②農業従事者が“自ら頑張りが活躍できる”まちづくり ③誰もが働きやすい環境と多様な働き方の実現
2	地域がつながりを築き、郷土への新しいひとの流れをつくる酒々井づくり	①地域資源等を活用した交流人口・関係人口増加の促進 ②町外からの移住・定住の促進 ③子どもから高齢者まで誰もが学び続けるまちづくり
3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる酒々井づくり	①結婚・妊娠・出産の支援 ②子育て支援の充実 ③特色ある学校教育環境の整備
4	人が集う安心して暮らすことができる、魅力的な地域をつくる酒々井づくり	①高品質なコンパクトシティを活かしたまちづくり ②安全・安心に暮らせるまちづくり

3. SDGsの視点

SDGsは、平成27年（2015年）に国連において採択された、令和12年（2030年）に向けた「国際社会全体の行動計画」に記載された国際目標です。

SDGsの「持続可能」という考え方は、自治体経営全般に通じるものであることから、本総合戦略では、その理念に沿って施策を展開するとともに、戦略の基本目標ごとに、SDGsの17の目標のうち該当するものを提示します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



① 安心しごと創出拠点

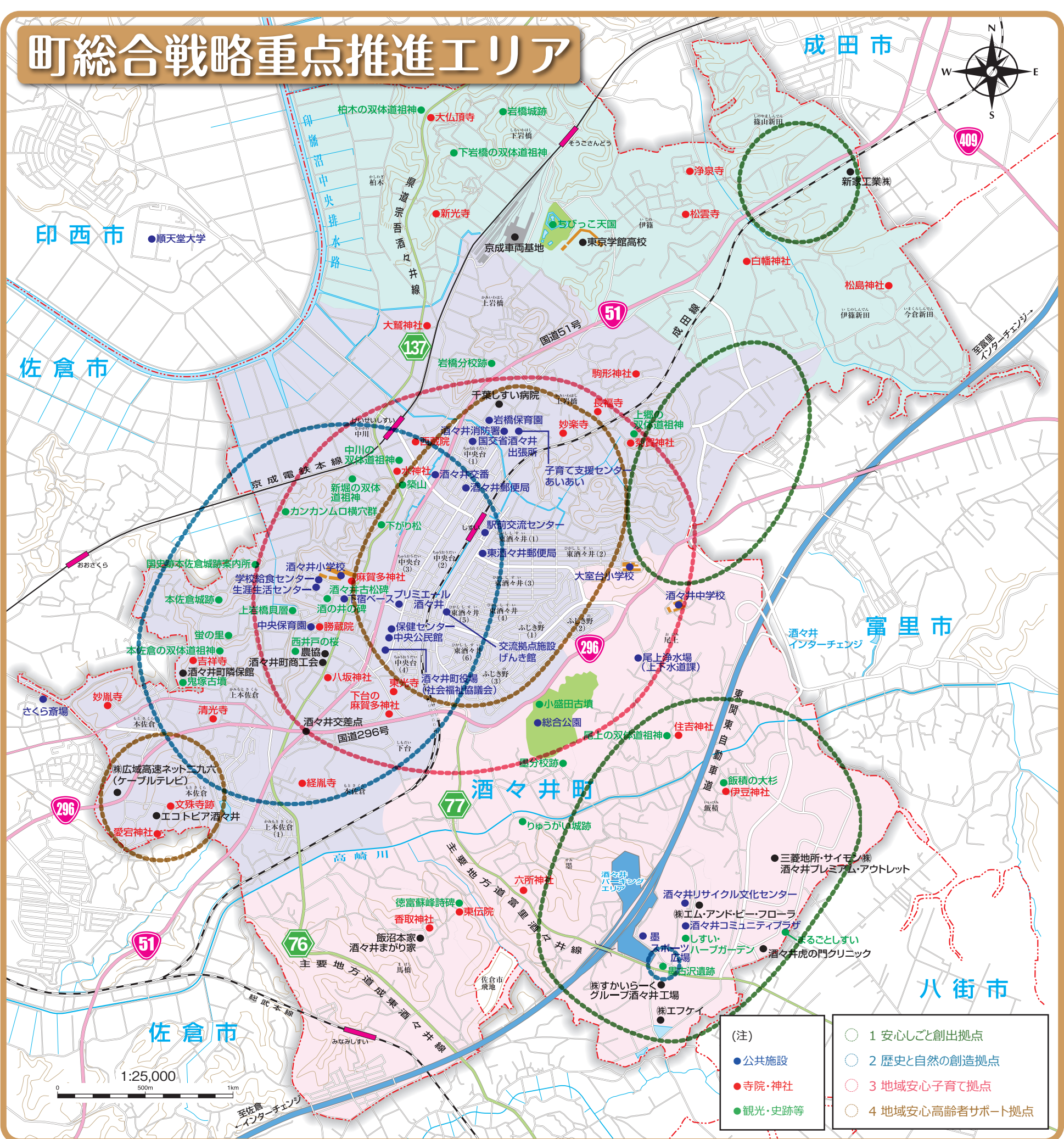
潤う地域をつくとともに、
安心して働ける酒々井づくり

- 酒々井インターチェンジ周辺等への製造・流通・業務系の事業者等の誘致を促進し、周辺自治体と連携して活性化を図ります。
- また、町内事業者の育成・事業継承のために、経営基盤の安定やデジタル技術の導入に向けた支援等を行い、雇用機会の拡充と地域経済の活性化を図ります。
- 働きたいという意欲を持っている人が、起業等多様な機会を創出し、多様な働き方のもとで、自分らしく働くことができるまちづくりを進めます。

② 歴史と自然の創造拠点

地域がつながりを築き、
郷土への新しいひとの流れをつくる酒々井づくり

- 本町が誇る国史跡墨古沢遺跡、国史跡本佐倉城跡などの町内の歴史文化観光資源の周知・普及・活用を図るため、官民連携して、周辺環境の整備や魅力を積極的に発信し、交流人口の創出を図ります。併せて酒々井町と継続的なつながりをもつ関係人口の創出を図ります。
- また、本町に居住するすべての人が学びたいことを積極的に学ぶことができる環境を整備し、「ふるさと酒々井」への郷土愛の醸成を図り、地域力の向上を図ります。



③ 地域安心子育て拠点

結婚・出産・子育ての希望を
かなえる酒々井づくり

- 安心して結婚・妊娠・出産ができるよう、中心市街地に近接した子育て支援センター あいあいにおける活動やファミリー・サポート・センター事業の更なる活性化を図るなど、子育て世代に対して切れ目のない支援を行います。
- また、自立できる子どもの育成に向けて、知・徳・体の調和がとれた学校教育を推進するとともに、ふるさと学習を通して地域への理解を促進し、酒々井で育った子どもたちへの郷土愛の醸成を図ります。

④ 地域安心高齢者サポート拠点

人が集う安心して暮らすことができる、魅力的な地域をつくる酒々井づくり

- 酒々井版CCRCの誘導・創出をすることで、高齢者が地域社会において健康でアクティブに生活できる環境を整備します。
- また、子育て施設、医療施設、消防署などの施設が集中的に立地している上岩橋地区の一部を将来にわたり町民の安全安心な生活を包括的にサポートする「しすい安全安心創造ゾーン」として整備します。
- 防災、防犯、交通安全対策など町が一体となった取組、誰もが安全・安心して暮らすことができるまちづくりを進めます。

※これらのエリアはイメージです。

基本目標1



潤う地域をつくとともに、安心して働ける酒々井づくり

■基本的方向

- ・ 中心市街地や酒々井インターチェンジ周辺など、地域に相應しい産業立地を促進するとともに、町内事業者の育成・事業継承のために、経営基盤の安定やデジタル化に向けた支援等を行い、雇用機会の拡充と地域経済の活性化を図ります。
- ・ 高齢化が進んでいる農業の担い手の確保・育成や農地利用の最適化など、農業の維持・活性化を図ります。
- ・ 生産年齢人口の減少により労働力の減退傾向がみられるなかで、アフターコロナも見据え、働きたいという意欲を持っている人が、起業等多様な機会を創出し、多様な働き方のもとで、自分らしく働くことができるまちづくりを進めます。

■具体的な施策

魅力ある雇用の場づくりの推進

農業事業者が“自ら頑張り活躍できる”まちづくり

誰もが働きやすい環境と多様な働き方の実現



基本目標2



地域がつながりを築き、郷土への新しいひとの流れをつくる酒々井づくり

■基本的方向

- ・ 町内の歴史文化観光資源の周知・普及・活用を図るため、官民が連携し、おもてなしに努めるとともに、本町の魅力を積極的に発信することで、交流人口の創出だけでなく、本町との継続的なつながりを有する関係人口の創出を図ります。
- ・ アウトレットの知名度とともにデジタル技術を活用するなど、若い世代を移住・定住につなげる具体的・効果的なシティプロモーションを推進します。併せて、これらの町外からの転入を促進するための環境づくりを受けて増加する将来的な移住者の受け皿づくりに向けた取組を進めます。
- ・ 年齢やライフステージに関わらず、本町に居住するすべての人が学びたいことを積極的に学べる機会を創出することで、地域への理解を促進するとともにふるさと酒々井への郷土愛の醸成を図ります。こうしたひとづくりを通じて、地域の力の向上を目指します。

■具体的な施策

地域資源等を活用した交流人口・関係人口増加の促進

町外からの移住・定住の促進

子どもから高齢者まで誰もが学び続けるまちづくり



基本目標 3



結婚・出産・子育ての希望をかなえる酒々井づくり

■基本的方向

- 希望する人が、安心して結婚・妊活期を含む妊娠・出産ができるよう、子育て世代に対して切れ目のない支援を行い、「子どもを産み・育てやすいまち」にしていくことにより、町内における出生数の増加を目指します。
- すべての子どもたちが、その置かれている環境に応じて、地域に見守られながら健やかに成長していけるように多様な支援を推進します。また、家庭や学校以外の子どもたちの居場所づくりの充実を図ります。
- 新たな時代に適応し、自立できる子どもの育成に向けて、知・徳・体の調和がとれた学校教育を推進するとともに、酒々井で育った子どもたちへの郷土愛の醸成を図ります。

■具体的な施策

結婚・妊娠・出産の支援

子育て支援の充実

特色ある学校教育環境の整備



基本目標 4



人が集う安心して暮らすことができる、魅力的な地域をつくる酒々井づくり

■基本的方向

- 酒々井版CCRCの誘導・創出を図り、高齢者が地域社会において健康でアクティブに生活できる環境を整備します。
- 町域がコンパクトという本町の特色を活かして、主要機能の更なる集約と併せてデジタル化の導入を推進し、それに伴う各分野における効率的・機動的な取組を促進することで、町民の利便性が高いまちづくりを進めます。また、効率的かつ効果的な行政運営の推進に向け、官民が連携し、民間の活力を導入するなど社会の変化に適合した、持続可能な行政サービスの提供を推進します。
- 防災や防犯のための、地域と一体となった取組を推進するとともに、安全・安心な町民生活の実現を図るため、防災・減災に資する町土強靱化を推進します。また、町民のライフラインである都市インフラの整備も促進します。
- 脱炭素化・カーボンニュートラルの実現に向けて、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用を推進し、持続可能な循環型社会の構築を目指します。

■具体的な施策

高品質なコンパクトシティを活かしたまちづくり

安全・安心に暮らせるまちづくり





井戸っこ（しすいちゃん）
酒々井町マスコットキャラクター



勝っタネ! くん
「酒々井町の教育」推進マスコットキャラクター



（発行・編集）
酒々井町